

## 題材名「Where is your house?」

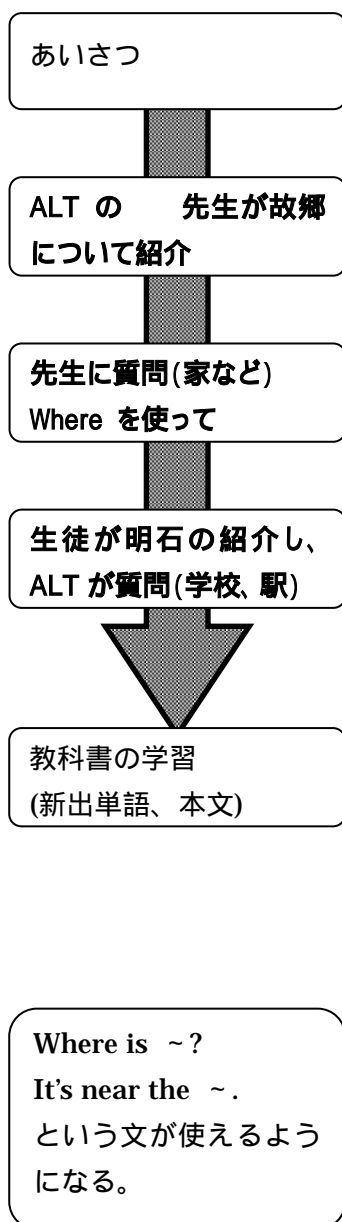
### 目 標

- ・ 疑問詞「Where」の文を使って、相手に場所を尋ねたり、相手の質問に答えられるようにする。
- ・ 自分たちの住んでいる町と、ALT の出身国の町の違いなどに気づかせる。

### コンピュータを活用する利点

実際に ALT の出身地について、フリーの 3D 地図ソフト（グーグルアース）を使って、出身学校や自宅、駅、友人の家などについてたずねられるようにする。市販のピクチャーなどと違い、実際にある風景を使って会話を行うので、コミュニケーション活動という観点からも、バーチャルな場面ではなく、実際に存在する建物や施設場所の説明をすることで、意味のある英会話の時間が取れる。

### 授業の流れ



### ICT 活用場面

ALT が最初に、3D 地球儀を使って、オーストラリアと日本を比べ、場所の確認、大きさの確認、時差のことを英語で話す。画面をズームアップしながら、首都・シドニーなどの都市を見る。国会議事堂・オペラハウス・オリンピックの施設なども、紹介していく。



次に、ALT と JTE がペアになって、Where is your hometown? Where is your house? Where is the station? など、Where ? の文の導入を行う。答えは、近くにある施設を基準にして、near などを使って答える。次に、生徒に ALT に high school, supermarket など知っている単語を使って質問する。

最後に、生徒が、ALT に明石の紹介をし、ALT に質問をしてもらい答える。(hotel, station, bus stop, school, supermarket など)

### 成果と課題

生徒たちは、日本とオーストラリアの街並みの違いにおどろいていた。言語活動としては、自分たちの住んでいる町の紹介、ALT の住んでいる町の紹介と、それぞれ身近で具体的な場所を使ったので、意欲的に学習していた。

課題としては、答えが、指差すだけで場所を伝えられるので、複文で言わせる (It's here. It's near my house. など) といった工夫が必要である。

### ICT 活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン 1 台、プロジェクタ
使用ソフト名	3D 地図ソフト グーグル アース
使用教室	普通教室